



北海道議会議員
ひろみつ
たけだ 浩光 道政通信

所属会派：民主・道民連合

住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします!

発行：たけだ浩光政務事務所 〒063-0811 札幌市西区琴似1条7丁目1-35 ☎011-624-8030 FAX 011-624-8031



道民の不安消えぬワクチン接種体制?! 対策遅い 知事!ピンチを大ピンチに!?

今年3月24日閉会した第1回定例会では、前年度当初予算を4,329億上回る3兆2,530億を新年度当初予算として可決した。そして、令和3年度重点施策において、知事は「ピンチをチャンスに」「ハンディを強みに」「強みを成長エンジンに」という視点から、ポストコロナを見据えた本道の新たな未来を切り拓くための起点となる取組を推進すると言っています。

しかし、閉会時に2桁だった新型コロナウイルス感染者数が、ほぼ1ヵ月後の4月28日には200名を超える感染者数へと膨らみ、その後は誰もが予想したがごとく一気に感染者数が増加し現在に至っている。

知事は、このピンチにしかもGW前になぜ早くまん延防止等重点措置などを国へ要請しなかったのか。5月5日の「札幌マラソンフェス2021」終了後まで待ったと思われても致し方ないと思うほどである。いったい知事はどこを見て仕事をしているのだろうか。

「まん延防止」要請後13日に開催された臨時会では、対策費として219億4千万が計上されはしたものの、我々が指摘した緊急事態宣言要請の必要性も議会終了後に表明するなど、全く誠実さを感じず議会軽視と言わざるを得ません。

今、緊急事態宣言延長下において、6月15日から第2回定例会が開催されます。民主・道民連合としても、まずは知事の対策の遅れをしっかりと認識させ、過去の経験がなぜ活かされていないのか検証を求めなければなりません。その上で支援等の対策強化を求めるとともに、ワクチンの接種体制の加速化を図るよう追及していきたい。オリンピック開催への疑念も広がる中、ワクチン接種の普及は今後に向けた1番の施策であることには間違いはないことから、道としての力強い対応を強く望みます。



“事務所を移転しました”

4月1日に、長年にわたりお世話になった「林ビル」から下記の場所に引っ越しました。この間、皆様に本当にお世話になったことに感謝いたしますとともに、これからも引き続き変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

新所在地：〒063-0811

札幌市西区琴似1条7丁目1-35

電話：011-624-8030

さんばちBLDⅢ 2F

FAX：011-624-8031

(電話・FAX番号ともに変更ございません。)

その他：なお、従前同様に立憲民主党北海道第1区総支部西区支部と札幌地区連合西区連合とともに上記住所へ移転しました。

みなさん、気軽に来てください!

戦略

シリーズ企画第2弾 ①

としての

ワクチン Vaccine

今や、長期国家戦略として取り組まれている新型コロナウイルスのワクチン開発・生産強化体制ですが、皆様ご存知のとおり、世界の中で日本のワクチン戦略は大きく遅れをとっています。そこで、今回はシリーズ企画第2弾として「ワクチン」を取り上げてみました。

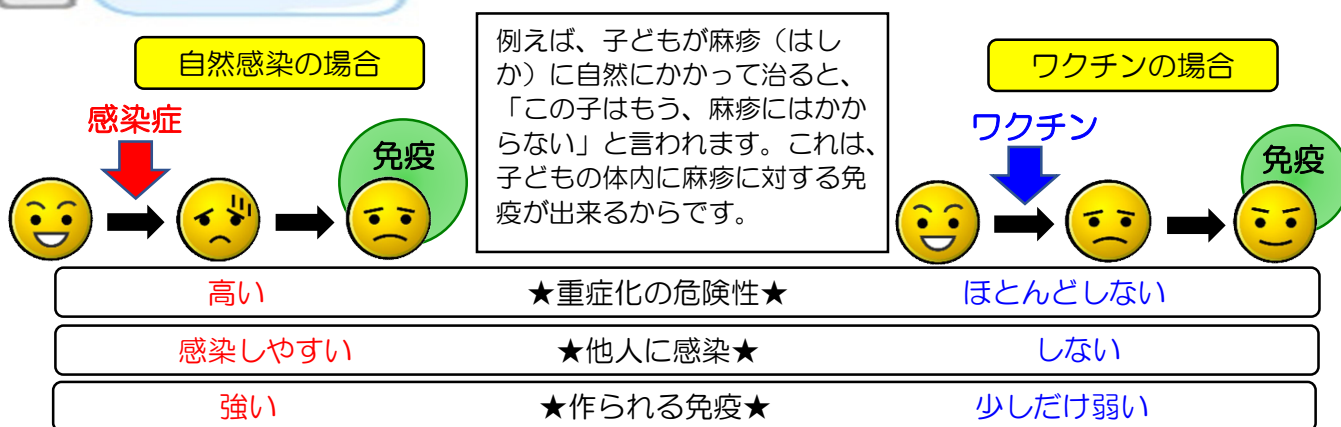


ワクチンの歴史

人類とワクチンの歴史は古く、今から200年以上前に遡ります。1796年、イギリス田舎町の開業医であるエドワード・ジェンナーが自身の研究から、牛痘にかかった乳搾りの女性の手に出来た水疱から液体を抽出し、ジェンナーの使用人の息子にその液体を接種しました。その後、その子どもに天然痘ウイルスを接種する実験を行いました。その子は天然痘を発症することはありませんでした。天然痘ワクチンの誕生です。ワクチンという言葉はラテン語で牛を意味する"vacca"から来ています。ジェンナーの研究に協力した牛と、乳搾りの女性サウに敬意を表してのことです。1980年、WHOは天然痘撲滅を宣言しました。

ワクチンのしくみ

自然感染よりはるかに安全に免疫をつくれます。



ワクチンは、こうした自然感染と同じ仕組みで、私たちの体内に免疫を作ります。ただし、自然感染のように実際にその病気を発症させるわけではありません。コントロールされた安全な状態で免疫を作り出します。ですから、接種後に症状が出ず、たとえ症状が出ても大変軽いのが特徴です。他人へうつさせない点も、ワクチンの利点です。

しかし、自然感染に比べて生み出される免疫は弱いため、1回の接種では充分ではなく、何回かに分けての追加接種が必要になることがあります。

ところで

ジェンナーの種痘法は大きな成功を収めました。1840年、当時のイギリス政府が、ジェンナー以外の方法を禁止するほど効果的だったのです。

しかし、ジェンナーは種痘法の特許をとることはしませんでした。なぜなら、特許を取るとワクチンが高価なものになり、多くの人々に行き届かないと考えたからです。それはジェンナーからの贈り物だったのです。。。

今回は、新型コロナウイルスのワクチンについてお話ししたいと思います。

e-mail : info@takeda-hiromitsu.com



たけだ浩光オフィシャルWebサイト

たけだ浩光

検索

オフィシャルWebサイトで道政通信のバックナンバーがご覧になれます

